

平安時代

平氏の滅亡

頼朝はん、そろそろ1180平氏を倒すと

(1…年)

静岡県の(2…地名)で(3…右の人物)が、長野県の(4…地名)では、(3)のいとこの源義仲(木曾義仲)が平氏を倒すための兵をあげました。



石橋山の戦いでは、源頼朝が平氏に敗れますが、富士川の戦いでは平氏を破っています。そして、1183年の

倶利伽羅峠の戦いで源義仲が平氏を破ってからは源氏の勢いが大きくなっていきます。

1184年、一ノ谷の戦い(神戸市須磨区)で、源頼朝の弟の(5…人物名)が奇襲をかけて平氏を破り、1185年には香川県高松での(6…地名)の戦い、山口県(下関あたり)での(7)の戦いと続きます。最後が(7)の戦いです。



この地で瀬戸内海に沈んだ安徳天皇はわずか7歳、その母は平清盛の娘(徳子)です。こうして平氏の政治はわずか20年ほどで終わっています。

源頼朝とは、平治の乱で平清盛に敗れた源義朝の子です。このころの戦では、

負けた方の武将とその子らの首をはねるのがふつうです。しかし、源頼朝と弟の源義経があまりに幼かったため、かわいそうと思った平清盛が情けをかけたのです。

源頼朝は伊豆に流された後、一帯を支配していた北条氏の娘の北条政子を妻にめとり、北条一族の力をかりて平氏を倒したのですが、平清盛にしてみれば、恩をあだで返されたわけです。

また、義経は平泉の奥州藤原氏の保護を受け、幼いころは牛若丸とよばれています。兄の挙兵を知ってかけつけ、ともに戦い活躍した人物です。しかし、やがて兄と不仲となり、最後は兄に追われて岩手県平泉で自害しています。さらに、源頼朝は、1189年に義経をかくまった藤原氏一族をほろぼしています。



鎌倉時代 1185つくれた鎌倉幕府

(8…年) この時代、土地を所有することができたのは天皇家と貴族、有力な寺社だけでした。そのため、いくら働いても自分の土地をもつことができない武士たちはずっと不満を抱えていたようです。もし、自分たちの土地があれば、毎年一定の作物を得られ、飢えることがなくなります。政権をとった武士出身の平氏は貴族になったため、自分たちの利益を優先し、武士たちの望むものに気がつかないようでした。

そこで、私のためにはたらいってくれた者には恩賞を(土地)を与えると約束した頼朝のもとに、平氏に反感をもつ多くの武士たちが集まったと思われます。一武将にすぎない(大きな力も土地もない)頼朝が、平氏を倒せたのはこうした背景があったようです。頼朝は1185年に院政の後白河上皇と交渉して、武士にも土地を所有する権利を認めさせています。そして、地頭を任命する権利を持つ日本国惣地頭となって武士たちに土地を与えたのです。そして、自分と対立するようになった義経を討つという名目で、(9…役職名を漢字で)と(10…役職名を漢字で)を全国におくことを朝廷に認めさせています。(9)は軍事や警察の仕事と御家人の統率にあたり、その下の(10)が荘園の管理や年貢の取り立てなどを行なって地方の政治を行っています。

さらに、源頼朝は1192年に(11…役職名)となって鎌倉に幕府を開きます。武士で始めて政権をとった平清盛が、太政大臣という貴族の最高位をとって京都で政治を行ったことをきらい、軍人の役職をとったようです。

初めてこの役職に就いた人物は坂上田村麻呂です。また、もともとこの役職は都から遠く離れて戦うために、朝廷が全権(その地での支配権)をあたえた一時的な役職でした。頼朝は早くにこの役職を望んだのですが、朝廷がなかなか認めなかったようです。

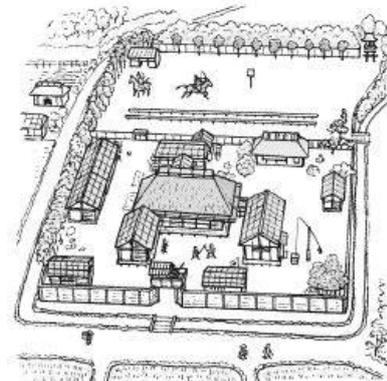


御家人(家来)が鎌倉と自分の領地との間を行き来するために、各地と鎌倉を結ぶ道が整備されました。そして、これらの道は後に鎌倉街道とよばれるようになります。右は鎌倉の周囲にがけを切ってつくられた7つの(12)という道です。一頭の馬がやっと通れるぐらいの狭い道幅しかありません。頼朝の用心深さが分かります。右上の地形図から分かる頼朝が鎌倉の地を選んだ理由を答えなさい。…(記述 1)



鎌倉幕府のしくみは、働いてくれたほうびに、将軍が御家人(家来)に(13…領地のこと)を与え、戦いがおこればかけつけて将軍のために戦うことの(14…漢字で)からなっています。こうした土地をなかだちとした仕組みを(15…?制度)といい、この後の約140年間が鎌倉時代です。

資料2 鎌倉時代の武士の生活の様子

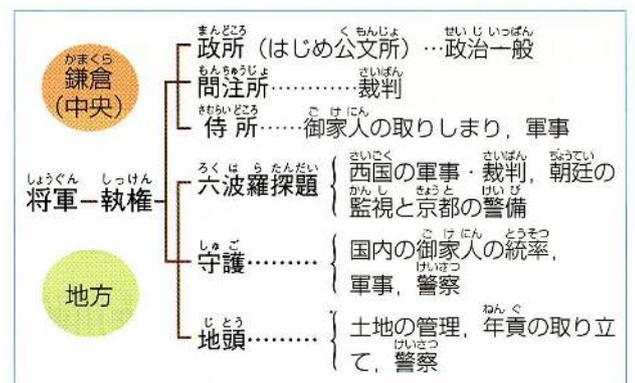


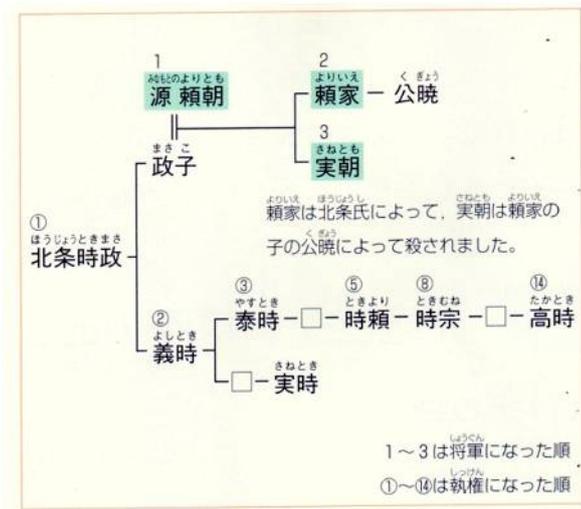
武士たちは、(16…?造)とよばれる屋敷に住み、ふだんは農民を使って農業を営みながら、武芸に励んでいました。馬を走らせながら笠の形の的を射る(17)や、板の的を射る(18…ひらがな可)などの武芸があり、これらの一部は観光行事として現在も残っています。

政治のしくみは、いままでの律令政治に比べて簡単で武士らしく実質的なものです。将軍の下におかれた(19…役職名)が実際の政治をとりしきり、頼朝の死後は、妻の(20…人物名)の一族の北条氏がこの役職に就いて実権をにぎり、幕府を支配するようになります。この頼朝の妻は(21…女性のことをいう?将軍)とよばれるほどの力をもっていました。

この時代の武家の女子は、親の領地をついで地頭になることができ、結婚しても姓を変えずに夫とほぼ対等な地位にあった

ようです。中央では(22…役職名)が政治一般を行い、(23…役職名)が朝廷の監視を行っていました。





頼朝の死後、1202年に2代将軍の(24...人物名)が北条氏と対立して殺されています。

1203年には(25...人物名)が3代将軍になりますが、北条氏が実権をにぎっていたために何もできず、最後には北条義時にそそのかされた2代将軍の子の(26...ひらがな可)に暗殺されています。こうして頼朝の血筋はわずか3代(約30年)で絶えてしまい、あとは執権の北条氏が名ばかりの将軍を京都からむかえて実権をにぎったのです。

北条氏のこうした政治を(27...?政治)といいます。

また、北条時政とは初代執権になった人物で、その娘が頼朝の妻の北条政子、その弟が2代執権の(28...人物名を漢字で)です。

承久の乱

(29...年)

朝廷の1221六波羅探題



源氏の将軍が途絶えると、幕府の力が弱くなったと見た(30...?上皇)が政治の実権を取りもどそうとして全国の武士たちに、「義時を討て」と命令します。しかし、北条氏の大軍に敗れ、上皇は義時によって現在の島根県の(31...島名)に島流しされました。天皇のように位の高い人物ほどその

怨霊は強大だと思われ、簡単に殺すことはしなかったのです。このできごとを(32...?の乱)といいます。

下の資料は、このときに、北条政子が御家人たちの前で演説した内容をあらわしたものです。□に入ることを漢字1字で答えなさい。

侍たちよ、よく聞きなさい。昔は3年間も京の都を守る仕事を命令され、勤めが終わって帰るときは、すっかり疲れ果ててしまい、裸足で帰ってきたではないか。頼朝公は、その負担を半年に縮めてくれた。その(33)は(34)よりも深く、(35)よりも高い。もし、その(33)を思うならば、京に行き、上皇をそそのかす者を討つのです。

この後、北条義時は朝廷の反乱を監視するための(23...役所名)を京都に置き、上皇方についた公家(貴族)や武家の領地を取り上げ、その土地に新たに地頭をおいています。

このことで世の中にある変化が生まれます。その変化を「幕府の支配が」の書き出しで答えなさい。...(記述2)

つまり、この承久の乱が武士の政権の本当の始まりなのです。



(36...年) 御成敗、123は2になるよ。...by ヤストッキー

51 か条からなる武士がつくった最初の法律の(37...漢字で)が制定されます。御成敗とは守らなかったときの罰則を、式目とは項目(ページ)を意味します。これを制定したのが3代執権の(38...人名を漢字で)で、次がこのときの資料です。

このきまりを作った目的は、身分の高い低いを問わず、公平に裁判がおこなわれるように、細かいことを定めておくのである。これは、仮名しか知らない人たちの便利になるようにと考えて定めたものである。

そして、これがこれ以降の**武家法**の手本になっていきます。承久の乱の後、土地をめぐる守護や地頭と荘園領主の争いがふえたため、この人物が守護や地頭のつとめや御家人の領地についての武家社会のしきたりをまとめ、今でいう法律を定めて政治や裁判のときの基準にしたのです。

農民のくらし

鎌倉時代の農民は二重の税の負担に苦しめられました。このことを「農民は朝廷と鎌倉幕府の……。」というようにまとめて答えなさい。…(記述3 ヒント:各地にはすでに国司がいます。)

そのため、農民たちは村から全員で逃げだしたりして抵抗しています。下の資料は今の和歌山県の農民たちが、地頭のふるまいを領主に訴えたものです。

わたしたち農民は、地頭からたびたび人夫としてかり出されたり、村から逃げ出した農民の畑に麦をまけと命じられたりしています。もし、ことわれば女や子どもの耳や鼻を切り落とし、髪の毛を切り縄でしばりあげるといっておどされます。

また、農民たちはこの時代から**牛馬を耕作に利用**し、草や木の灰を肥料に用いるようになっていきます。つまり、鎌倉時代から農業生産が高まっていくのです。西日本では稲の裏作として麦をつくる農法の(39…?作)が広まっています。



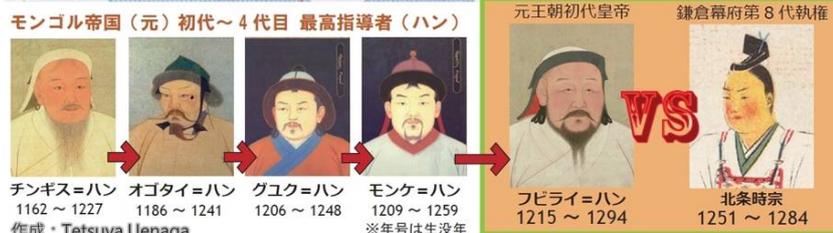
元寇



(40)



(41)



1206年、(40…人物名をカタカナで)が、中国北部のモンゴル民族を統一し、その子孫たちがアジアからヨーロッパにまたがる広大なモンゴル帝国(一時はドイツやフランスにも攻め込んでいます)を築きました。このとき、ロシアもモンゴル帝国に征服されています。領土はとられていませんが、

モンゴル帝国に高い税を払わなければならないなど、その支配下にありました。そのため、ロシアに隣の国からの包囲を極端に恐れる臆病さや攻撃的な姿勢が生まれ、それが現在のロシアのウクライナ侵攻につながっていると考える人もいます。



そして、(40)の孫の(41…人物名をカタカナで)が、中国を支配して元王朝をたてて、朝鮮半島の(42…13世紀の初めに新羅に代わって朝鮮半島を統一した王朝)をしたがえた後、日本にも従うようにとたびたび使いを送ってきます。しかし、8代執権の(43…右の人物)はこの要求をしりぞけます。



1274年

文永で元軍上陸、1274

朝鮮半島の(42)を従えた元が、3万の軍で博多湾に攻め入ったできごとが(44…?の役)です。外国との戦いは役といい、国内の戦いは乱といいます。

一騎打ちの戦いしか知らない武士たちは、元軍の集団戦法や火薬を使った武器(てっはう…写真)で攻められて敗れ、上陸されてしまいます。しかし、このときの元軍はなぜか日本にとどまらず、本国に引きあげていました。



(45…年)

時宗がベストの1281を考案(弘安)

元が14万の大軍で再び北九州に攻めてきます。しかし、襲来にそなえて石塁を築いていた幕府の抵抗や、台風による暴風雨などによって、元軍は上陸できずに引き上げています。

この戦いは(46…?の役)といい、この2つの戦いを(47…ひらがな可)といいます。

これらの戦いのときに日本を守ったのが(43)です。元はその後も日本を攻めることを計画しますが、中国で反乱が起きたため中止されています。

また、ヨーロッパがモンゴル帝国にけちらされていたのとくらべて、日本がモンゴル帝国に勝利していたことから、「神風」といわれる大暴風が吹き荒れたなどの理由もありますが、結果的に見ると、当時の日本の軍事力が世界的に見て高い水準にあったことがわかります。



また、左はこのときに活躍した竹崎季長という肥後(今の熊本県)の御家人です。自分の手柄を記録するために書かせたものといわれています。



(48…年)

武士と借金1297

日本の歴史で初めての借金を払わなくてもよいとする令が出ます。(49…?の?)です。永仁とはこの令が出されたときの元号です。

なぜ、幕府は徳政令のような法律を出したのかを、元と戦った武士たちのことを考えて答えなさい。…(記述 4)

しかし、このことで武士たちの生活はかえって苦しくなります。そのわけを答えなさい。…(記述 5)

ほうびを求める竹崎季長



鎌倉時代の建築・彫刻・仏教

北条時宗が宋から僧を招いて、鎌倉市に(50…右の?寺)を建てています。



また、この時代の代表的な建築に奈良市にある(51…建物名)があります。この門におさめてある(52…?像)は、この時代を代表する彫刻として

知られています。(53…人物)と、その弟子の(54…人物)による二人の作品です。

平安時代末からの戦乱やききんなどで、社会不安が強くなっていた人々は、心のよりどころを仏教に求めています。新しく生まれた仏教は鎌倉仏教とよばれ、分かりやすく実行しやすかったため、武士や民衆の間に広まっていきました。

①(55…僧名)が「南無阿弥陀仏」と念仏をとなえれば往生できる(極楽に行ける)と説いたのが浄土宗です。また、この僧の弟子で浄土真宗(一向宗)を開くのが(56…僧名)です。浄土真宗は一向宗ともよばれ、このあとの室町時代に武士や農民に広まり、強大な勢力をもつようになります。とくに、一向宗本山の指示でおこした農民たちの反乱は一向一揆とよばれ、一国を支配するほどの勢力になっていきました。

※法然とその弟子の親鸞の名は重要です。

②天台宗(最澄)を学んだのちに宋に渡り、日本に臨済宗を伝えた僧が(57 僧名)です。宋から(58…工芸作物)の種をもち帰った人物として知られています。臨済宗は禅宗ともよばれ、座禅によって悟りを得るなどが武士の気風に合っていたため、鎌倉幕府やこのあとの室町幕府の保護を受けています。

③日蓮宗(法華宗)を開き、「南無妙法蓮華経」と唱えることによって人々は救われると説いた僧が(59…名)です。

④道元が開いた禅宗が曹洞宗です。

⑤諸国をまわり、踊り念仏を広めた一遍が開いたのが時宗です。

文学

この時代は、平安時代に続いて和歌がさかんに詠まれています。

(60…人物名)が編集した「新古今和歌集」や、3代将軍の源実朝による(61…作品名)がこの鎌倉時代の代表的な歌集です。



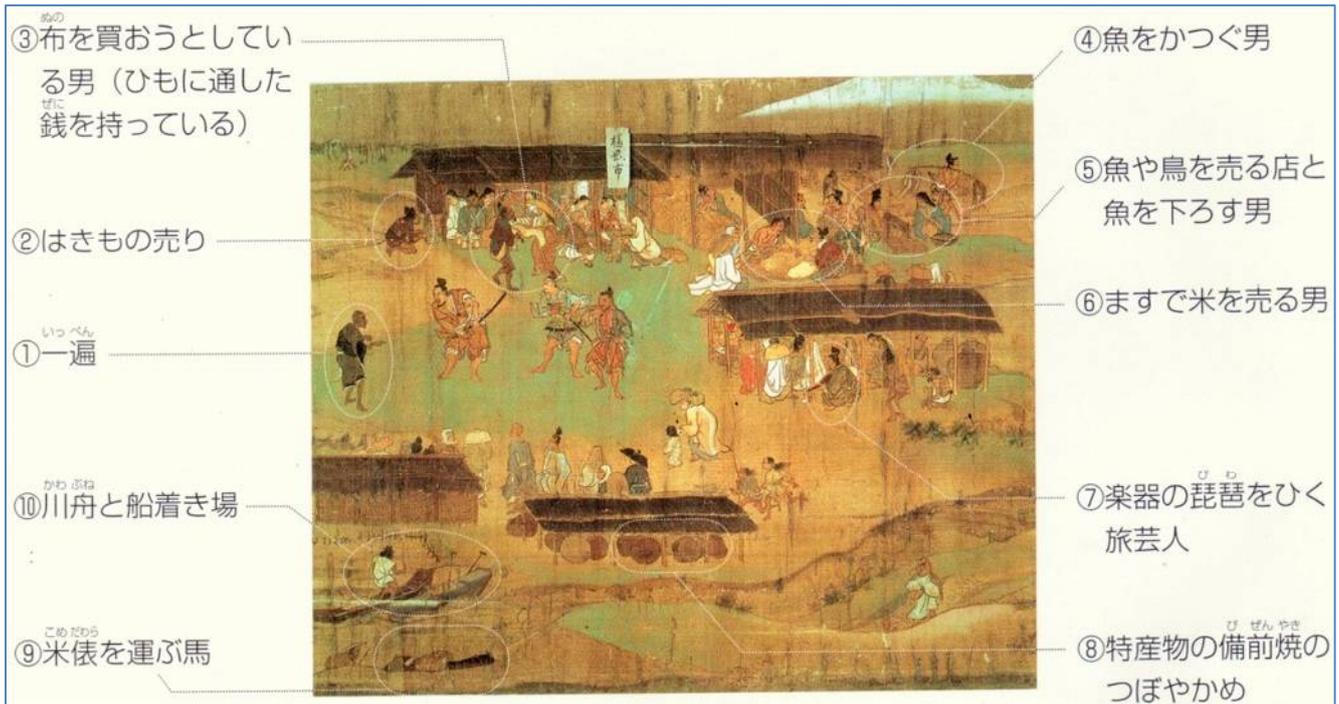
また、平家滅亡のようすをつづった軍記物語の(62…?物語)は、琵琶という楽器を奏でながら、リズムカルに歌うように語り聞かせる(63…右の?法師)によって伝えられ、これを聴いた多くの人が涙をこぼしました。

こうした物語が一般の人々の文字に対する興味を深め、識字率を上げるのに貢献したと考えられています。

随筆では鴨長明の「方丈記」や、『徒然なるままに・・・』で始まる吉田兼好の(64…作品名)が知られています。

現在の横浜市に建てられた金沢文庫には北条実時によって多くの書物が集められています。

外国では、シルク・ロードを通して中国に行き、元の皇帝につかえ、帰国後に日本のことを【黄金の国ジパング】と著した『東方見聞録』を書いたイタリアの商人の(65…人名をカタカナで)がいます。



鎌倉時代あたりから、商業や農業がさかんになっています。そして、次の室町時代に、1日の食事が2食から3食になるなど、今日の生活様式のもととなるものができています。

「一遍上人絵伝」の資料から鎌倉時代の商工業のようすが分かります。板ぶきの小屋では、はきもの・布・米・魚・鳥・焼き物などのさまざまな品物が売られ、取引には元の前王朝の(66…銭の種類)が使われています。日本の貨幣は信用が無く、そのほとんどに中国の貨幣が使われていたのです。

また、農業や手工業の発達により、これらの物資が船や馬で市に運ばれて、交通の便のよい地域で月(67)回の定期市がたつようになっています。三重県の(68)市や千葉県の日市場市などの地名は、この市のなごりをあらわしています。さらに、年貢を運んだり保管したりする運送業者の(69)もこの時代にあらわれています。

さらに、(70…漢字で)という同業者の組合をつくり、自分たちの利益を増やすものたちもいました。平安時代後期から始まった同業者の組合には、油座や紙座などがあり、いずれも許可証が無いと油も紙を売ることができない独占企業のようなものでした。そのため許可証があれば多額の利益を得ることができたのです。しかし、この許可証を手に入れるには多額の資金が必要で、だれでもがこうしたことはできない仕組みになっていたのです。